



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社 大光銀行
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 川合 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 近藤 慎一

TEL 0258-36-4111

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,488	3.4	3,220	2.2	2,155	20.1
2024年3月期第3四半期	15,943	6.4	3,148	36.4	1,793	37.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,222百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 2,419百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第3四半期	226.24	223.45
2024年3月期第3四半期	188.77	186.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,710,556	76,449	4.4
2024年3月期	1,625,132	78,165	4.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 75,749百万円 2024年3月期 77,509百万円

(注) 「自己資本比率」は(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期		25.00		25.00	50.00
2025年3月期		30.00			
2025年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,190	8.0	3,280	0.1	2,170	26.4	228.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,671,400 株	2024年3月期	9,671,400 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	141,307 株	2024年3月期	150,037 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	9,527,428 株	2024年3月期3Q	9,502,239 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(修正再表示に関する注記)	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
3. 決算補足説明資料	P. 7
2025年3月期第3四半期決算説明資料	P. 7
(1) 損益状況（単体）	P. 7
(2) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	P. 8
(3) 自己資本比率（国内基準）	P. 9
(4) 有価証券の評価損益（単体）	P. 10
(5) 預金等、貸出金の残高（単体）	P. 10
(6) 預り資産（末残）の状況（単体）	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当行グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、その他経常収益が減少したものの、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加に伴う資金運用収益の増加や役員取引等収益の増加などにより、前年同四半期比5億45百万円増加の164億88百万円となりました。経常費用は、その他経常費用が減少したものの、資金調達費用や営業経費の増加などにより、前年同四半期比4億73百万円増加の132億67百万円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同四半期比72百万円増加の32億20百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比3億62百万円増加の21億55百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆7,105億56百万円(前年度末比854億24百万円増加)、純資産は764億49百万円(前年度末比17億16百万円減少)となりました。主要勘定につきましては、貸出金は1兆1,758億29百万円(前年度末比277億45百万円増加)、有価証券は3,554億24百万円(前年度末比23億1百万円増加)、預金等(預金+譲渡性預金)は1兆5,013億56百万円(前年度末比635億63百万円増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、2024年5月10日公表の通期業績予想に対し順調に推移しておりますが、今後の金融市場や経済情勢などが不透明であることから、通期の業績予想を据え置いております。

なお、本業績予想は、現時点において入手可能な情報や合理的であると判断する一定の前提に基づき算出しておりますが、今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	85,979	141,086
金銭の信託	2,966	2,963
有価証券	353,123	355,424
貸出金	1,148,084	1,175,829
外国為替	2,305	2,261
その他資産	12,624	10,932
有形固定資産	14,668	14,645
無形固定資産	864	760
退職給付に係る資産	3,724	3,915
繰延税金資産	1,941	3,242
支払承諾見返	4,435	5,330
貸倒引当金	△5,587	△5,836
資産の部合計	1,625,132	1,710,556
負債の部		
預金	1,399,881	1,476,790
譲渡性預金	37,912	24,566
債券貸借取引受入担保金	23,998	29,440
借入金	70,200	88,100
外国為替	14	2
その他負債	8,189	7,794
賞与引当金	413	216
役員賞与引当金	10	17
睡眠預金払戻損失引当金	328	319
偶発損失引当金	140	166
再評価に係る繰延税金負債	1,440	1,362
支払承諾	4,435	5,330
負債の部合計	1,546,966	1,634,106
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	56,902	58,701
自己株式	△312	△294
株主資本合計	74,798	76,615
その他有価証券評価差額金	△542	△3,929
土地再評価差額金	2,813	2,637
退職給付に係る調整累計額	439	425
その他の包括利益累計額合計	2,710	△866
新株予約権	139	161
非支配株主持分	516	538
純資産の部合計	78,165	76,449
負債及び純資産の部合計	1,625,132	1,710,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	15,943	16,488
資金運用収益	11,201	12,501
(うち貸出金利息)	8,647	9,197
(うち有価証券利息配当金)	2,357	2,991
役務取引等収益	2,602	2,660
その他業務収益	90	107
その他経常収益	2,048	1,218
経常費用	12,794	13,267
資金調達費用	182	655
(うち預金利息)	112	548
役務取引等費用	1,482	1,525
その他業務費用	444	397
営業経費	8,848	9,082
その他経常費用	1,837	1,606
経常利益	3,148	3,220
特別利益	0	54
固定資産処分益	0	54
特別損失	644	68
固定資産処分損	53	2
減損損失	591	66
税金等調整前四半期純利益	2,504	3,206
法人税、住民税及び事業税	732	906
法人税等調整額	△39	121
法人税等合計	692	1,027
四半期純利益	1,811	2,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,793	2,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,811	2,178
その他の包括利益	608	△3,401
その他有価証券評価差額金	593	△3,387
退職給付に係る調整額	15	△13
四半期包括利益	2,419	△1,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,402	△1,245
非支配株主に係る四半期包括利益	17	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(修正再表示に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当行グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当行グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはクレジットカード業務等が含まれております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	442百万円	612百万円

3. 決算補足説明資料

2025年3月期 第3四半期決算説明資料

（1）損益状況（単体）

●投資信託解約損益を除くコア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益が増加したことなどにより、前年同四半期比5億2百万円増加の38億28百万円となりました。
●実質業務純益は、前年同四半期比6億1百万円増加の35億36百万円となりました。
●経常利益は、株式等関係損益が減少したものの、実質与信関係費用が減少したことなどにより、前年同四半期比28百万円増加の31億31百万円となりました。
●四半期純利益は、前年同四半期比3億42百万円増加の21億21百万円となりました。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期比	2024年3月期 第3四半期	（参考） 2025年3月期 通期予想
業務粗利益	12,471	849	11,622	
（コア業務粗利益）	(12,865)	(803)	(12,062)	
資金利益	11,838	832	11,006	
役員取引等利益	998	△48	1,046	
その他業務利益	△366	65	△431	
（うち国債等債券関係損益）	(△394)	(46)	(△440)	
経費（除く臨時処理分）	8,935	249	8,686	
人件費	4,993	176	4,817	
物件費	3,402	58	3,344	
税金	539	15	524	
実質業務純益	3,536	601	2,935	
（コア業務純益）	(3,930)	(555)	(3,375)	
（コア業務純益（除く投資信託解約損益））	(3,828)	(502)	(3,326)	
①一般貸倒引当金繰入額	△166	△166	—	
業務純益	3,702	767	2,935	
臨時損益	△571	△738	167	
②うち不良債権処理額	986	157	829	
③うち貸倒引当金戻入益	—	△205	205	
④うち偶発損失引当金戻入益	—	△10	10	
⑤うち償却債権取立益	389	286	103	
うち株式等関係損益	37	△636	673	
経常利益	3,131	28	3,103	3,190
特別損益	△14	630	△644	
税引前四半期純利益	3,117	659	2,458	
法人税、住民税及び事業税	875	160	715	
法人税等調整額	120	156	△36	
法人税等合計	996	317	679	
四半期純利益（当期純利益）	2,121	342	1,779	2,120

（参考）

実質与信関係費用（①+②-③-④-⑤）	430	△80	510
---------------------	-----	-----	-----

- （注） 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
 3. 2025年3月期の通期予想は、2024年5月10日に公表した数値であり変更はありません。
 4. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益
 5. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

（2）金融再生法開示債権及びリスク管理債権

- 金融再生法開示債権及びリスク管理債権は、単体・連結ともに前年同四半期末比13億円増加し、単体が278億円、連結が279億円となりました。
- 不良債権比率は、単体が前年同四半期末比0.04ポイント、連結が同0.03ポイント上昇し、単体・連結ともに2.33%となりました。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	31	34
危険債権	240	232	233
要管理債権	0	1	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小計 (A)	278	265	269
正常債権	11,680	11,328	11,403
総与信残高 (B)	11,958	11,593	11,673
不良債権比率 (A) / (B)	2.33%	2.29%	2.31%

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37	32	35
危険債権	240	232	233
要管理債権	0	1	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小計 (A)	279	266	270
正常債権	11,694	11,342	11,416
総与信残高 (B)	11,973	11,608	11,687
不良債権比率 (A) / (B)	2.33%	2.30%	2.31%

（3）自己資本比率（国内基準）

●2024年12月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、単体が8.16%、連結が8.20%となりました。いずれも規制値（4%）を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2024年12月末 〔速報値〕		2023年12月末	2024年9月末
		2023年12月末比		
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.16%	△0.18%	8.34%	8.30%
(2) 自己資本 ①－②	750	11	739	746
コア資本に係る基礎項目 ①	778	14	764	774
コア資本に係る調整項目 ②	28	3	25	28
(3) リスク・アセット	9,182	328	8,854	8,988
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	367	13	354	359

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2024年12月末 〔速報値〕		2023年12月末	2024年9月末
		2023年12月末比		
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.20%	△0.18%	8.38%	8.34%
(2) 自己資本 ①－②	755	11	744	752
コア資本に係る基礎項目 ①	788	21	767	784
コア資本に係る調整項目 ②	32	9	23	32
(3) リスク・アセット	9,206	329	8,877	9,011
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	368	13	355	360

(4) 有価証券の評価損益 (単体)

●有価証券全体の評価損益は、62億円の評価損となりました。

	(単位：億円)						(参考)	(単位：億円)	
	2024年12月末			2023年12月末			2024年9月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的の債券	△3	0	3	△1	0	2	△2	0	2
その他有価証券	△59	89	148	△38	69	108	△36	82	118
株式	73	73	0	58	58	0	68	68	0
債券	△49	0	49	△23	2	25	△30	2	32
その他	△83	15	98	△74	8	83	△73	11	85
合計	△62	89	151	△40	70	110	△38	82	121

- (注) 1. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については(四半期)貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので(四半期)貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。
2. 連結の有価証券の評価損益につきましては、単体と同額であります。

(5) 預金等、貸出金の残高 (単体)

●預金等(預金+譲渡性預金)の残高は、個人預金、法人預金及び公金預金が増加したことなどにより、前年同四半期末比209億円増加し、1兆5,014億円となりました。

●貸出金の残高は、事業者向け貸出及び消費者ローンが増加したことなどにより、前年同四半期末比370億円増加し、1兆1,762億円となりました。

	(単位：億円)		(参考)	(単位：億円)	
	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末		
預金等(末残)	15,014	14,805	14,789		
うち新潟県内	13,437	13,262	13,218		
うち個人	10,111	10,069	9,977		
貸出金(末残)	11,762	11,392	11,475		
うち新潟県内	7,692	7,524	7,492		
うち消費者ローン	3,772	3,676	3,729		

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(6) 預り資産(末残)の状況(単体)

●預り資産の残高は、投資信託や公共債が増加したことなどにより、全体では前年同四半期末比97億円増加し、1,791億円となりました。

	(単位：億円)	(参考) (単位：億円)
	2024年12月末	2023年12月末
預り資産	1,791	1,694
投資信託	778	616
公共債	92	90
保険	920	987
		2024年9月末
		1,763
		733
		93
		935

以 上